



永井 千年 議員

国保税の大幅値上げをやめよ

質問
市町村国保は社会保障だ。11月末で45世帯の保険証がとめ置かれている。本人に渡す努力をしているのか。

市は「短期保険証」を10月から1カ月間の短期にし、現在28世帯に発行している。なぜ1ヶ月という超短期の保険証を発行しはじめたのか。

市民生活部長
一般世帯の方には保険証を簡易書留で送付。郵便局より返却された方には、再度保険証の受け取りに来庁されるよう手紙を出した。

短期保険証該当世帯には、窓口にて納税相談をしながら交付している。無茶な金額をお願いしているわけではない。

質問
医療費の窓口負担の減免制度の周知は、低所得者の減免内容の充実が急務だが。

市民生活部長
広報やホームページで周知する。減免は現状のままです。

質問
特定検診、住民検診の受診

者が減っている。県内35市中23市が検診料を無料にしている。無料にする考えは。

市民生活部長
無料だから検診率が高く、有料だから低いとは言い切れないので現状で行く。

質問
国保運営協議会に大幅値上げ案が出された。国保が高くなったのは、国・県の補助が減ったから。元へ戻すよう働きかけよ。ま

市は自ら雇用確保に取り組み

質問
「はたらくところが無い」と雇用に対する深刻な声が寄せられている。市の対策は。

経済建設部長
海部津島地域で唯一、若者の就職相談を行っている。

質問
スポーツ施設の指定管理

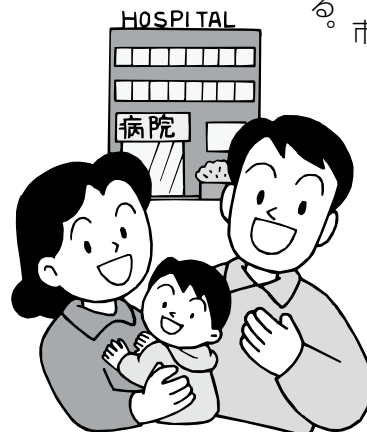
た、一般会計から繰り入れて、値上げを抑えるべきでは。

市長
将来的な展望の中で、税率は考えていきたい。原点は国という話だが、市長会としても要望している。

で、シルバー人材センターから20人ほど派遣されているが、どうなるのか。

教育部長
指定管理業者は1月中旬からシルバー人材センターと協議するといっている。

質問
市の公共事業で働く労働者



の賃金や労働条件を確保し、手抜き工事などの低下を防ぐ「公契約」条例をつくる自治体が増えてきている。愛西市もつくるべきだが。

企画部長
公契約条例の目的である「良質で安全なサービスの確保」は重要な認識。先例市の中身は研究したい。